

# ▶ 報告書様式の記載方法①（販売事業者の事例）

表題及び本文中の報告年度については決算年度を記載してください。

別記様式第3号（第4条関係）

食品等流通合理化事業の実施状況報告書（令和▲年度）

令和○年○月○日

〇〇農政局長 殿

住所 〇〇県××市□□1-2-3  
 名称及び株式会社〇〇  
 代表者の氏名 〇〇〇〇 印  
 （個人の場合は氏名）

〇〇年〇〇月〇〇日付けで認定を受けた食品等流通合理化計画に従い実施している食品等流通合理化事業について、食品等の流通の合理化及び取引の適正化に関する法律施行規則第4条の規定に基づき、令和▲年度の実施状況を下記のとおり報告します。

## 1 食品等流通合理化事業の実施状況

実施内容（設備投資の内容を含む。）

**計画**

【品質管理及び衛生管理の高度化】  
 販売施設内において従来のものよりも庫内の冷気の流れ、温度のバラつきを改善される最新のショーケース、低温保存倉庫を導入することで多くの食品の鮮度管理ができるとともに廃棄率の低下による衛生管理の業務についても簡素化が図られる。これにより経費削減しつつ効率的な品質管理及び衛生管理の高度化を図る。

【情報通信技術その他の技術の利用】  
 食品等販売事業者においては取引先との受発注について、これまでFAXを主体としていたが、発注を一括で行えるインターネット受発注システムを新たに導入することで、発注からの配送時間が短縮されるとともに自動化されることにより受発注業務の生産性向上が図られる。

【国内外の需要への対応】  
 近隣の農林漁業者と農林水産物（トマト、豚肉）の取引について「安定的取引に関する覚書」を結び、安定的な取引関係を構築することで、消費者ニーズに合致した地産地消、食の安全・安心と併せて食品等を安定的に供給するとともに流通の効率化を図る。

【設備投資①】  
 実施者：㈱〇〇  
 導入年度：R1  
 施設等の種類：設備（システム）  
 施設等の規模・能力等：受発注システム一式  
 事業費：10,000千円

【設備投資②】  
 実施者：㈱〇〇  
 導入年度：R1  
 施設等の種類：設備（システム）  
 施設等の規模・能力等：冷蔵ショーケース〇台、低温保存倉庫〇台  
 事業費：20,000千円

**1 食品等流通合理化事業の実施状況**  
 計画は申請書の3の（1）に記載した内容を記載してください。

**実績**

【品質管理及び衛生管理の高度化】  
 販売施設内において最新のショーケース、低温保存倉庫を導入することで、多くの食品の鮮度管理ができるとともに廃棄率の低下による衛生管理の業務についても簡素化が図られた。また経費削減しつつ効率的な品質管理及び衛生管理の高度化を図られた。

【情報通信技術その他の技術の利用】  
 発注を一括で行えるインターネット受発注システムを新たに導入することで、発注からの配送時間が短縮された。また自動化されることにより受発注業務の生産性向上が図られた。

【国内外の需要への対応】  
 近隣の農林漁業者と安定的な取引関係を構築し、トマトについては、台風等の影響により、目標としている取引量に達していないが、消費者ニーズに合致した地産地消、食の安全・安心と併せて食品等を安定的に供給し、流通の効率化を図っている。

【設備投資①】  
 実施者：㈱〇〇  
 導入年月：R1年〇月  
 施設等の種類：設備（システム）  
 施設等の規模・能力等：受発注システム一式  
 事業費：9,500千円

【設備投資②】  
 実施者：㈱〇〇  
 導入年月：R1年〇月  
 施設等の種類：設備（システム）  
 施設等の規模・能力等：冷蔵ショーケース〇台、低温保存倉庫〇台  
 事業費：19,000千円

**1 食品等流通合理化事業の実施状況**  
 実績は上記計画に対する実績を記載してください。

## ▶ 報告書様式の記載方法②

### 2 安定的な取引の状況

3年目及び5年目の事業年度終了後の報告時に、認定申請時の認定申請書に別記様式第1号別紙1又は別紙2を添付した方は記載してください。また、「その他」の欄には、認定申請時に記載した5年後の計画値及び伸び率を記載してください。

#### 2 安定的な取引の状況

品目	取引量 (kg、%)			取引額 (千円、%)			その他
	事業実施前	3年目	伸び率	事業実施前	3年目	伸び率	
トマト	20,000	18,000	▲10	10,000	9,000	▲10	取引量
							24,000kg (20%)
豚肉	30,000	33,000	10	30,000	33,000	10	取引額
							12,000千 (20%)
計	50,000	51,000	2	40,000	42,000	5	取引量
							60,000kg (20%)
							取引額
							48,000千 (20%)

#### 3 計画と実績が異なる場合の理由

トマトについては、令和〇年〇月の台風の影響により契約農家の一部圃場において定植できなかったことから取引量及び取引額が事業実施前より減少している。次年度以降においては計画どおり定植し、5年目に向けて取引量及び取引額の目標伸び率を確保することとしたい。

豚肉については、低温保存倉庫を導入したことにより計画的に取引量を増加させることで取引額とともに増加している。次年度以降も引き続き5年目に向けて取引量及び取引額の目標伸び率を確保することとしたい。

豚肉については、ほぼ計画どおり目標伸び率を確保しているものの、トマトについては、台風災害により計画していた取引量を確保できなかったが、契約農家とは次年度以降の生産状況等を意見交換し、当初計画の取引量を確保できることから引き続き安定した取引関係を構築していくこととしたい。

### 3 計画と実績が異なる場合の理由

計画と実績が異なる場合にその理由を記載してください。また、3年目の事業年度終了後の報告時に最終目標値の50%に満たない場合、その要因及び是正方法について記載してください。

#### 【報告時のポイント！】

- 報告内容は支援団体にも照会の上、提出すること
- 設備整備が計画どおりに行われたこと、事業計画に変更がないことを確認すること
- 認定計画の目的、実施期間、事業実施場所、施設の内容又は建物の構造、事業費の20%以上の増減、施設等の能力又は規模の20%を超える増減などが発生した場合は、認定計画の変更申請を行うこと（適宜申農林水産省請認定担当者または支援団体に相談すること）
- 3年目の報告において最終目標値が50%に満たない場合は、4年目以降においてもその状況を詳細に整理して報告すること
- 不当な理由（天候による不作、災害、疫病の万円等による生産停止、倒産・廃業・著しい経営悪化、経済情勢の急激な変化による事業縮小・撤退、提携先からの一方的な契約破棄等）により最終目標値を達成できない状況等が発生した場合は適宜農林水産省申請認定担当者または支援団体に相談すること